

# 虫によるトラブルをさける服装 など

できるだけ

団体引率者向け

安全対策 補足情報欄

※1 ダニ類は、野生のネズミ、シカ等の動物の毛に付着して移動する物があります。その為、髪の毛につくとなかなか落ちません。長髪の方は帽子に髪を完全に入れる等の注意が必要です。

※2 襟元からのダニの侵入を防ぎます。また、近くにハチが来てもタオルなどで払わないようにしてください。攻撃されたと思い襲ってきます。

※3 ダニは、体温を感知して付着します。ダニが付きにくいツルツルした化繊の服が理想的です。

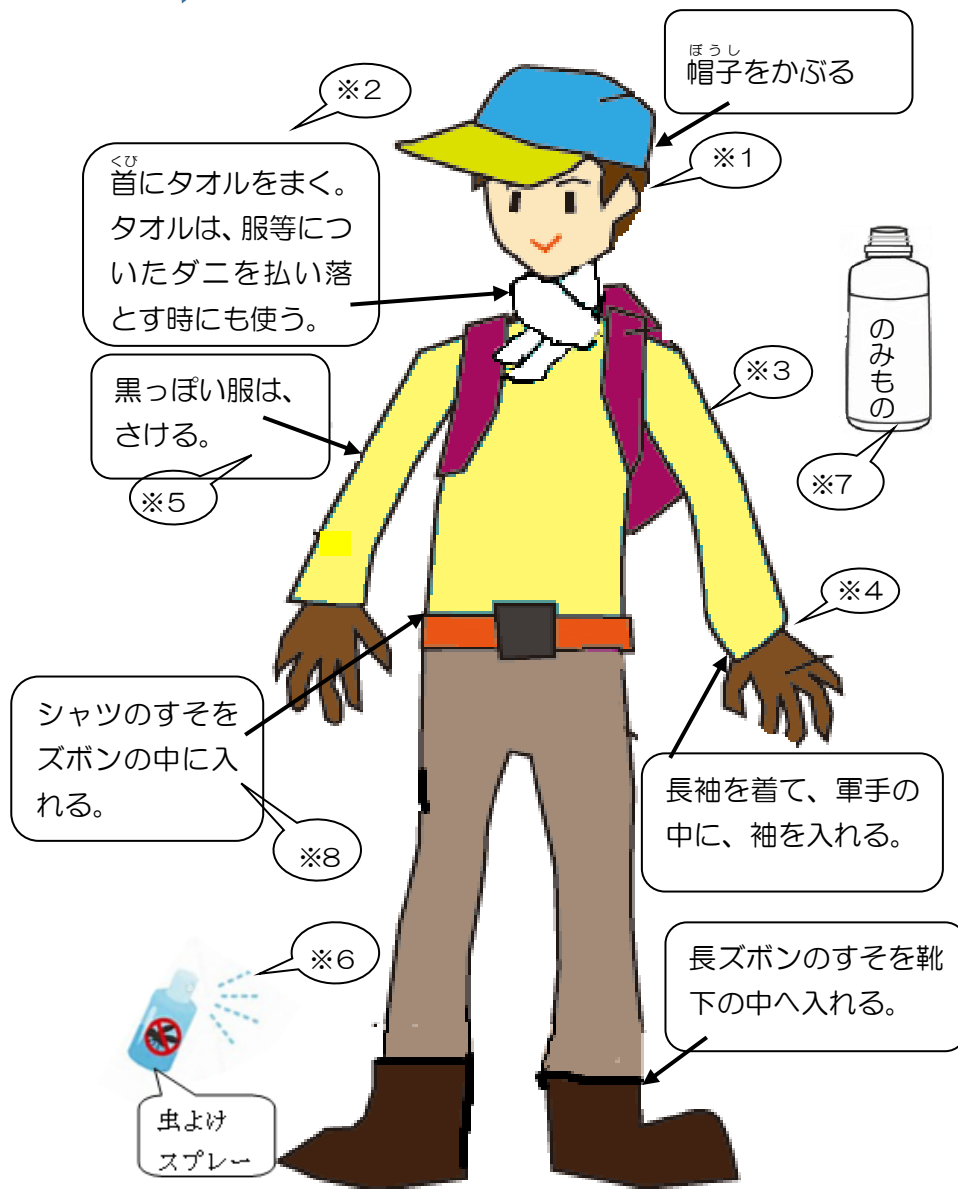
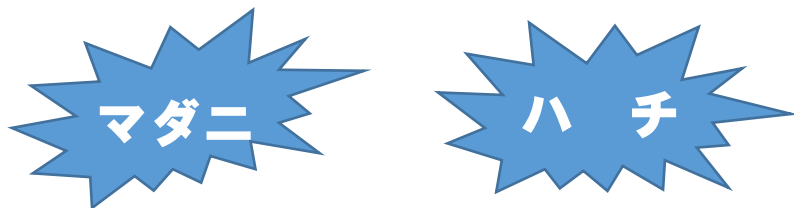
※4 暑くて半袖になったり、軍手を脱いだりした時は、ダニが服の中に入る可能性が高くなる為入念にダニを取り除いてから室内に入ってください。

※5 黒は、ハチの攻撃性を高める色です。白っぽい服は、表面にダニが付着した時に見えやすいのでお薦めです。室内に入る前に、服の表面にダニがついていないか他人に見てもらおうと良いです。また、脱衣・入浴時などにも背中や首筋など自分の目線から見えないところを他人に見てもらってください。

※6 ディート（虫よけ成分）が含まれている市販の防虫スプレーは、マダニに対しても一定の効果がありますが、完全に防ぐことはできない為過信しないでください。また、ハチへの効果はないので、ハチを興奮させる行動はさけてください。

※7 ハチは、スポーツドリンクやジュースに含まれている砂糖や果糖の匂いに誘引されます。ハチがいると予想される環境ではさけたほうが無難です。

※8 ダニは、靴、服の表面、裏生地などへ少しずつ移動して、肉や皮が柔らかい場所を選び、吸血します。ダニが服の中へ侵入する前にダニを取り除くのが有効です。室内にはいる前などに、ガムテープを使って服・帽子などについたダニを取り除く方法も効果的です。



咬まれたり、刺されたりしてしまった時は？

団体引率者向け 危機管理情報欄

《ダニ》医療機関で除去します。無理にとろうとするとダニ体内の病原体が、人体に入る可能性がある為、触れないでください。

《ハチ》ハチの毒液には警報ホルモンが含まれている為、一人が刺されると、近くに巣があれば、短時間で沢山のハチが寄ってきます。刺された場所から、最低20m以上は離れ、二次被害を防いでください。

ハチに刺された場合、ハチの種類、過去に刺された経験の有無を問わず、すぐに病院へ。ミツバチ等の弱い毒性のハチでも人によってはショック症状が出ることがあります。

ハチに刺されて、病院へ行くまでの一時的な処置として、傷口周辺の毒を指で絞り出し、流水等で洗い流すと効果的です。ハチの毒は水に溶けやすい性質があります。